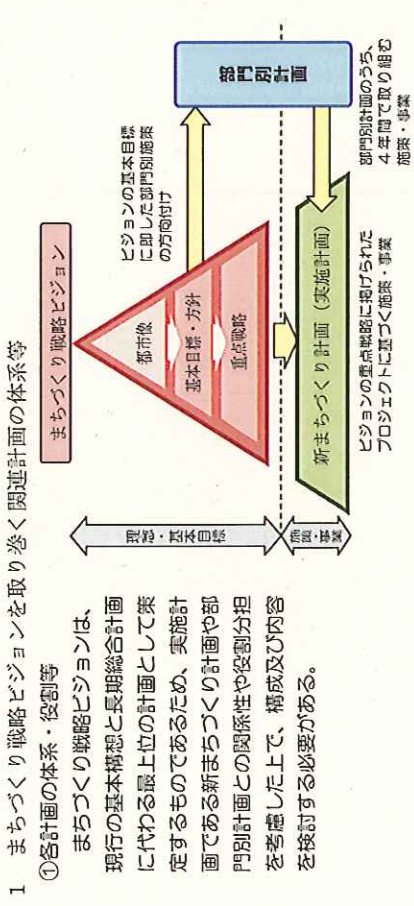
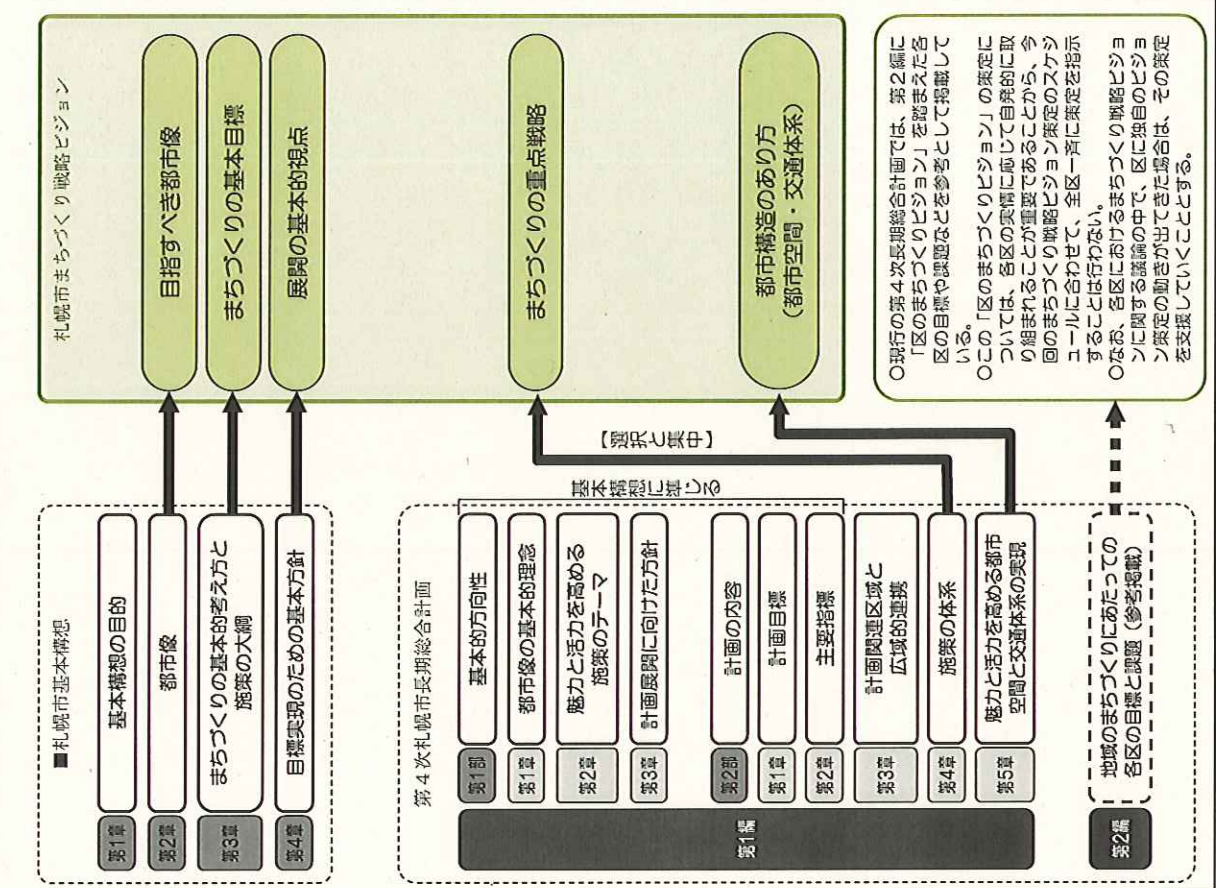


札幌市まちづくり戦略ビジョンの構成について

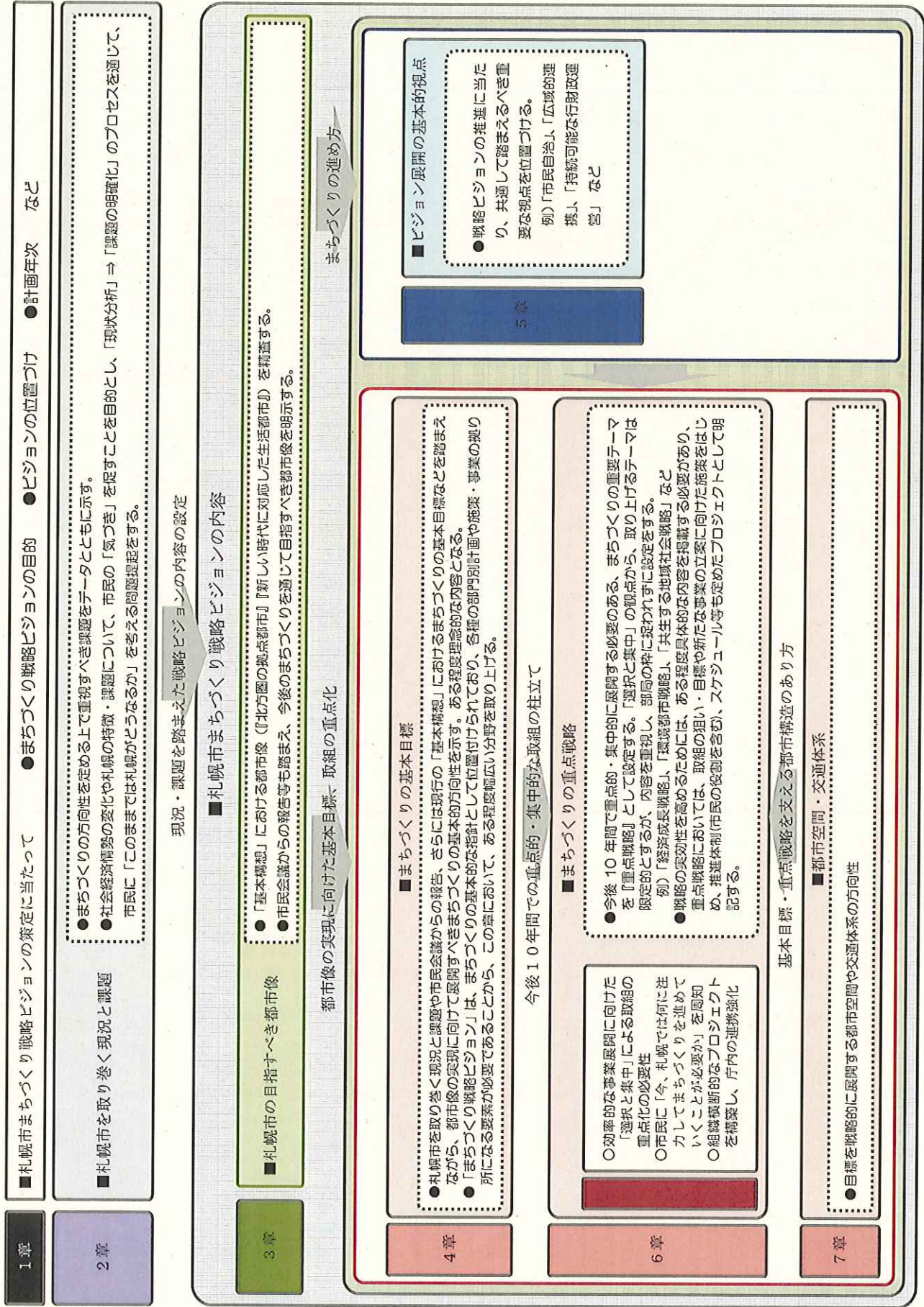


- ②計画期間
- まちづくり戦略ビジョンの計画期間は10年を基本とするが、都市像やまちづくりの方向性については、10年を超えた将来を見据えたものであることが必要となる。
 - 都市空間や交通体系などの都市構造についても、都市像同様に長期的な視点が必要とされる。
 - 重点戦略については計画期間である10年間に重点的・集中的に展開すべきまちづくりのプロジェクトであることから、適宜、施策・取組の評価・検証を行い、これを踏まえた次の10年間の重点戦略の構築が求められる。
- まちづくり戦略ビジョンに描く札幌の都市像とまちづくりの方向性
- 10年間
- 10年間
- まちづくりに基づく重点戦略の推進
- 次期ビジョンに基づく重点戦略の推進
- ・まちづくり戦略ビジョンの評価・検証
・新たな重点戦略の立案・展開

基本構想及び第4次長期総合計画との構造的差異



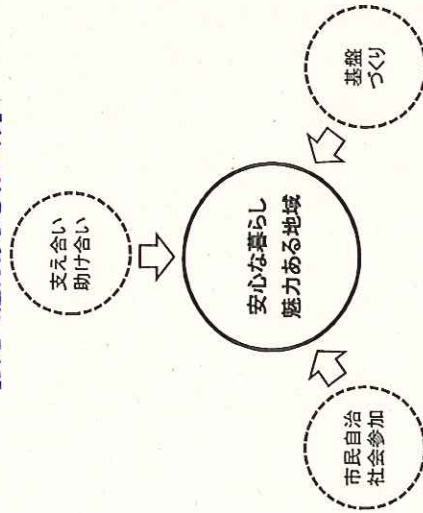
2 まちづくり戦略ビジョンの構成イメージ



【重点戦略のねらい】

1. 住み慣れた地域で、誰もが孤立することなく、住民が支え合い、支援を必要とする市民も安心して暮らせる地域づくりの推進
2. 多様な市民の地域活動への参加を促進し、市民自治の広がりと深化を通じて生き生きと暮らせる魅力ある地域づくりの推進
3. 地域における支え合いや地域活動の基盤となる住民同士のつながりや地域コミュニティの形成を促進する環境づくりの推進

【安心で魅力ある地域づくり】



【社会の変化と動向】

- 人口減少社会への移行、少子化の進行
- 経済の低成長化、所得や雇用の不安定化
- 若年層の未就業・非正規就業の増加
- 超高齢化社会の到来、単身高齢世帯の増加
- 家族力や地域力の低下、社会的孤立の顕在化
- 財政力の低下、行政サービスの制約化
- 市民・NPO・企業の社会的活動の活性化
- 多様なソーシャル・ネットワークの拡大
- 防災・安全・環境に対する意識の高まり
- 社会的連帯の重要性と価値観の広がり

【実現のための重点的取組】

【支援を必要とする市民も優しく包み込む安心な地域づくりの推進】

ひとり暮らしの高齢者をはじめ、障がい者、子ども・子育て世帯など、生活に関する様々な支援を必要とする市民の孤立を防止し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、身近な地域における支え合いや助け合いの体制づくりや活動の充実を図るとともに、複雑多様化するニーズに即した適切な支援やサービスが受けられる環境づくりを推進する。

- ① 地域の見守り活動の充実強化
社会的支援を必要とする市民の孤立を防ぐため、民生委員や地域福祉団体などの連携による見守り活動の充実強化を図る。
- ② 地域密着型の総合的な福祉サービスの提供
専門化・複雑化する福祉制度や自ら支援にたどり着けない市民の増加に対応するため、地域に密着したソーシャルワーカーなどの活用や、地域福祉団体・専門機関への支援及び実効性のあるネットワークにより、総合的な福祉サービスの提供を推進する。
- ③ 災害時における救助体制づくり
震災などの大規模災害発生時に、自力で避難することが困難な要援護者に対して速やかに避難支援を行うため、地域の自主防災組織や住民組織、関係行政機関などが連携した実践的な防災体制づくりと防災活動を推進し、地域防災力の強化を図る。
- ④ 歩いて暮らせるまちづくりの推進
誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、共同生活住宅などの安心な住まいづくりや住み替えの支援、買物弱者を支援する身近な生活サービスの充実などにより、歩いて暮らせるまちづくりを推進する。

【多様な市民参加を通じた市民自治による魅力ある地域づくりの推進】

子どもから高齢者まで、ライフサイクルに応じた社会学習や地域活動への参加促進を図るとともに、年代や性別、障がいの有無などにかかわらず、多様な市民が地域の中で共生する仕組みづくりを推進し、誰もが生き生きと暮らせる魅力ある地域づくりを進める。

- ① 子どもの社会体験等の充実
魅力ある地域を次世代に引き継いでいくため、子どもも地域の重要な一員として、身近な地域活動に主体的に関わる機会を拡充していくとともに、子どもの市民自治意識や社会体験を醸成する社会体験などの充実を図る。
- ② 地域で共生する仕組みづくり
子どもと高齢者との世代間の交流や、障がい者との日常的なふれあいを創出する共生型サロンなどの多様な取組を通じて、誰もがお互いに尊重しながら共生する魅力ある地域づくりを進める。
- ③ 若者の社会参加と自立の推進
まちづくりの担い手として、若者が主体的に地域社会へ参加する取組を進めるとともに、社会的自立が困難な若者の地域における社会参加や就労につながる仕組みづくりを推進する。
- ④ 高齢世代が生き生きと暮らせる環境づくり
豊富な社会経験や知識・技能を有する高齢世代が健康で生きがいをもって社会に参加するライフスタイルを創出し、生き生きと暮らせる環境づくりを推進する。

【安心で魅力ある地域を実現するための基盤となる環境づくりの推進】

見守りや支え合いによる安心な地域づくりや、多様な市民参加を通じた魅力ある地域づくりを推進する上で、基盤となる住民同士のつながりや地域コミュニティを形成するための「場」、「人」づくりを進めるとともに、これらを支える行政機関の機能強化を推進する。

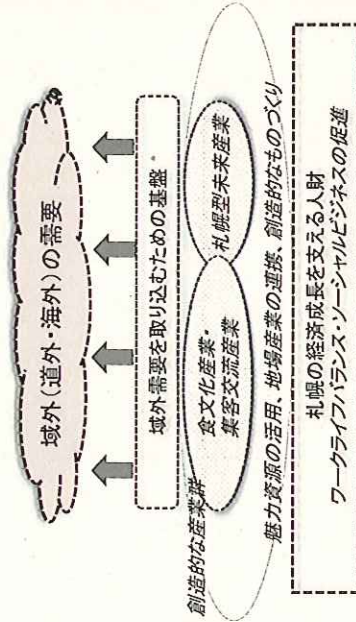
- ① まちづくりセンターの機能強化
市民や住民組織などが主体となって行う地域活動を支援するとともに、安心な地域づくりを推進するため、まちづくりセンターの機能強化を図り、区役所や関係機関などとの連携ネットワークを推進する。
- ② 多様な活動主体による地域活動の活性化
地域の住民組織やボランティア団体、NPO、企業などの様々な活動主体が、相互に連携しながら活動を展開し、相乗効果により活動を活性化するための仕組みづくりを推進する。
- ③ 地域コミュニティを促進する「たまり場」づくり
人と人のつながりによる地域コミュニティの形成を促進するため、学校の空き教室や空き家、空き店舗などを活用し、子どもから高齢者まで誰でも気軽に立ち寄り、顔の見える交流ができる地域のたまり場づくりを推進する。
- ④ 地域活動を促進する専門的な人材の養成・活用
住民組織などの活性化を促進し、地域活動を持続・発展させていくため、地域のまちづくり活動の中心を担う人材や、専門的な視点からマネジメントを支援する人材などを養成・活用する仕組みづくりを推進する。

重点戦略Ⅱ 創造性を活かした産業群の形成

【重点戦略のねらい】

1. 人口減少や少子高齢化による厳しい経済環境のなか、札幌の持つ魅力的な地域資源を活かした創造的な食文化産業や集客交流産業を育成する。
2. 到来する超高齢化社会・低炭素社会が生み出す将来的な需要を見据え、新たな価値を創造する札幌型未来産業を創発する。
3. 上記1及び2の創造的な産業群が域外需要を積極的に取り込んでいくための基盤をつくる。
4. 将来の札幌経済を支える市民の潜在能力を引き出し、多様化する地域社会の課題解決や持続可能な社会の実現を図る。

【外需獲得型の産業と雇用の創出】



【社会の変化と動向】

- 人口減少社会への移行、少子高齢化の進行
- 経済の低成長化、所得・雇用の不安定化
- 共働き世帯の増加、女性の社会活動の活発化
- 若年層の未就業・非正規就業の増加
- 財政力の低下、公共事業・サービスの縮小
- NPO・社会的企業・ライフスタイルビジネスの成長
- 国際的な経済交流の拡大、経済自由化の進展
- 東アジア地域の経済発展、観光市場の拡大
- 北海道フードコンプレックス国際戦略特区、コンテンツ特区指定
- 地球環境問題などによるエネルギー利用の再考

【実現のための重点的取組】

【域外需要を開拓する創造的な産業群の形成】

(魅力的な地域資源を活かした産業の高度化)
人口減少と少子高齢化により域内市場が急激に縮小するなか、札幌が持つ魅力的な地域資源を活かした付加価値の高い食文化産業・集客交流産業を育成することにより、食や観光分野を軸とした幅広い産業分野における競争力の強化を図り、域外の需要を積極的に取り込む。

① 食文化を活かした産業の高度化
豊かな自然や風土・気候に育まれてきた札幌の食文化の魅力を活かし、食分野産業と他分野(観光、健康・福祉・創造)の産業との連携を促進し、新たな付加価値の創出から域外市場の確保までをコーディネートすると共に、関連する企業や人材を域内外から誘致・集積することにより、食文化産業の高度化を図る。

② 魅力資源を活かした産業の高度化
自然環境、文化・食資源、都市基盤などの札幌らしい個性と強みを放つ魅力資源を活かし、観光分野産業と他分野(食、健康・福祉・創造)の産業との連携を促進し、専門的な人材が地域のマネジメントによる来訪者本位の仕組みをつくることにより、集客交流産業の高度化を図る。

(新たな価値を創造していく産業の創発)

到来する高齢化社会・低炭素社会が生み出す将来的な需要を見据え、課題解決に向けた新たな価値を創造する札幌型未来産業を創発することにより、域内外の新たな需要、特に将来同様の課題に直面する海外の需要を積極的に取り込む。

① 高齢化社会に対応した産業の振興
人口減少・少子高齢化が急速に進展するなか、到来する高齢化社会が生み出す潜在的な需要を捕捉または喚起し、健康・福祉機器のものづくりや、予防医療に関連した機能性食品などの健康・福祉分野における新たな価値を創造する産業を育成する。

② 低炭素社会に対応した産業の振興
地球環境問題などによるエネルギー利用の見直しが進められるなか、到来する低炭素社会が生み出す潜在的な需要を捕捉または喚起し、エネルギー代替や都市におけるエネルギー・マネジメントの推進、積雪寒冷地技術の海外展開などの環境分野における新たな価値を創造する産業を育成する。

③ 札幌型創造産業の振興
札幌市立大学などの高等教育機関や質の高いデザイナー・クリエイター・アーティストなどが集積する札幌の優位性を活かし、札幌市民のライフスタイルから生み出される魅力を最大限に発揮する札幌型創造産業を育成する。

(産業の進化を支える基盤強化)

① イノベーションの誘発
創造的なものづくりにチャレンジしようとする地場企業、ベンチャー企業や起業家の動きを加速させるため、様々な分野の企業や起業家、研究機関や専門家、投資家やビジネスパートナーなどを結びつけ、イノベーションを誘発するためのビジネスプラットフォームを構築する。

② インキュベーション機能の強化
創造的なものづくりにチャレンジするベンチャー企業や起業家を生み育て、具体的な事業化への取組を支援するインキュベーション機能を強化する。

【域外需要を取り込むための基盤づくり】

① 国際経済戦略の積極的展開
中小企業のリスクを軽減するため、アジア・ロシアなどの経済発展地域に対する徹底したマーケティングや、ニーズに応じた商品開発から輸出促進までの一貫した支援や、域内の国際化を支援する体制を強化する。

② 広域連携ネットワーク環境の充実
域外とのヒト・モノ・カネの流れを活性化させるため、北海道内の主要な空港や港湾などの広域連携ネットワークにおけるインフラを充実させる。

③ 域外からの投資を促す環境の充実
札幌の地域や経済の特性を踏まえ、国内外からもものづくりに関する機能や首都圏企業のバックアップ機能などを誘致・集積させるための都市環境を充実させる。

④ シティレベルモータ戦略の積極展開
戦略的なマーケティングに基づき、国際的なイベント開催するなど、豊かな食文化、健康な暮らし、環境との共生、創造的な文化活動などの札幌市民のライフスタイルを世界に発信し、国内外において「SAPPORO」をブランドディングする。

【将来の札幌経済を支える人材の育成・活用】

① 創造的なものづくりを担う人材の育成
札幌市立大学をはじめとした高等教育機関による専門的な人づくりを充実させると共に、国際的な経営やマーケティングの知識や経験を持つ人材を活用する。

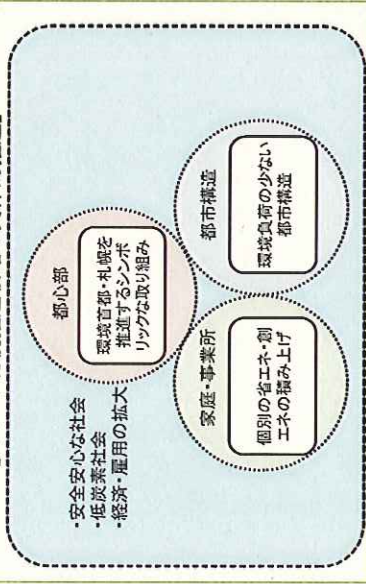
② 女性や高齢世代の潜在的な力の活用
地域における生活や教育のサービスを充実させ、子育てや老観介護をしながら働く女性のワークライフバランスや、豊富な社会経験や知識・技能を持つ高齢世代のソーシャルビジネスなどの社会的活動を推進し、女性や高齢世代による社会参加と就業を促進する。

③ 社会的インタナーシップの強化
小学校・中学校・高校・大学などでのものづくりの職業体験、外国への留学体験などの教育プログラムを充実させ、子どもたちの創造性や国際感覚を育むと共に、未就業の若者や女性の就業を支援・促進するため、経済団体・NPOなどと連携・協力し、多様な就業へのプロセスを提供するインターンシップ制度を推進する。

【重点戦略のねらい】

1. 「環境首都・札幌」宣言に基づき、地球環境保全のための取組の持続的な展開
2. 北方都市ならではの省エネルギー・創エネルギーの積極的な展開
3. 災害に強く、エネルギー効率の良い都市づくりに向けて、自立・分散型のエネルギー供給体制の確立
4. 新たなエネルギー技術の研究・開発・普及を進めると共に、これらを契機とした経済・雇用の拡大

【スマート札幌推進戦略の具体的推進】



【社会の変化と動向】

- 地球環境問題の深刻化、地球温暖化の進行
- 温室効果ガス排出削減への国際的取組
- 東日本大震災・福島第一原発事故の発生
- 防災・安全・エネルギーへの意識の高まり
- 省エネルギーの生活スタイル・消費行動の普及
- 再生可能エネルギーの開発・利用の促進
- エネルギーマネジメント技術・システムの展開

【実現のための重点的取組】

【都心部のエネルギーマネジメントの推進】

- ① 自立・分散型エネルギーネットワークの展開
最もエネルギー消費の大きい都心部のエネルギー効率を高めるため、電力と熱を効率的に供給するシステムを計画的に配置し、その余剰熱を周辺の建物へ供給する自立・分散型エネルギーネットワークを展開すると共に、個別の建物更新などの際に、既存の熱供給管も含めたネットワークへの接続を促進する手法などの検討を進める。また、新たな地下歩行空間の整備計画にあわせて、ネットワーク化を支える空間の確保も検討する。
- ② 環境にやさしい移動手段の構築
路面電車の積極的な活用や、レンタサイクルやサイクルシェアリングの活用も含めた自転車利用環境の向上などにより、環境にやさしい移動手段の構築を進める。

【次世代エネルギーシステムの展開】

- ① 住宅や施設の省エネルギー化の促進
札幌版次世代住宅基準の普及促進や建築物環境配慮制度(CASBEE札幌)などのガイドラインを強化し、省エネルギー性能の高い住宅や施設の整備を促進すると共に、札幌版次世代住宅の技術を活用した経済効果への波及を目指す。
- ② 先進的なエネルギーシステムの開発・利用の促進
再生可能エネルギーや新エネルギーを活用した電力や熱供給に関する先進的な技術の研究・開発・普及を、産学官の連携により積極的に推進することにより、効率的なエネルギー利用の促進にあわせて、産業の振興にもつなげていく。
- ③ 市民・企業の省エネルギー意識の向上
エネルギーの見える化や省エネ行動へのインセンティブの付与などによる市民・企業の省エネルギー意識の向上を図り、家庭・業務部門のエネルギー消費量の低減を促進する。
- ④ 次世代型自動車の普及促進
官民の協働による取り組みにより、次世代型自動車の普及を促進する。
- ⑤ 札幌型のエネルギーベストミックスの構築
家庭・事業所内で太陽光発電やコージェネレーションシステム、地中熱、蓄電池などを組み合わせた寒冷地にふさわしいエネルギーの効率的な利用を実現するスマートシステム構築に向けた取り組みを進める。
- ⑥ エネルギー連系システムの構築
系統ネットワークと分散型電源・再生可能エネルギーの連系に向けた検討を進める。

【環境負荷の少ない都市空間の創出】

- ① 生活圏におけるエコモビリティの強化
自家用車に過度に依存しない生活圏を構成するために、路線バスの利便性の向上に加え、これを補完する安全な自転車利用環境の向上や地域住民に密着したコミュニティを支える交通のあり方など、生活圏の移動を支えるエコモビリティの検討を進める。
- ② 循環型社会の構築
生ゴミ・処理残渣の資源化や新エネルギーへの転換など、循環型社会の構築を進める。
- ③ 市民・企業の環境負荷を低減する行動の促進
環境教育の推進や積極的な情報提供による市民・企業の環境意識の醸成を図ることにより、市民・企業の出資による創エネの取り組みへの参加や環境にやさしいライフスタイルへの見直しなど、市民・企業の環境負荷を低減する行動を促進する。
- ④ エネルギー効率の良いコンパクトなまちづくり
身近な生活圏で生活に必要な機能がまとまりを持って構成される市街地の形成により、移動によるエネルギー消費を抑えたコンパクトなまちづくりを促進する。

◆「都市像」の検討について

- 1 都市像を設定する目的と意義
- ・まちづくり戦略ビジョンは、札幌市の目指すべき姿を市民と共有することを目的の一つとしていることから、新たに設定する都市像には市民と共感できる理念を掲げる必要がある。
 - ・また、都市像には札幌市が今後目指す方向性を外部に発信する効果も期待できることから、札幌市の意志や特性を国内外に伝えるメッセージ性を持たせることが効果的であると考えられる。
 - ・これらの観点から、新たに設定する都市像については、「都市の質を表す理念」と「国内外に発信する理念」の2つを設定することが望ましい。
 - ・なお、都市像の検討にあたっては、先行して密議されている「まちづくりの基本目標」及び「基本的視点」との整合性を図るとともに、将来の札幌について市民目線で検討した「将来の札幌を考える市民会議」等における意見を尊重する必要がある。

2 検討にあたって踏まえるべき視点（キーワード）

(1) 「まちづくりの基本目標」等との整合性

○地域・コミュニティ

- ・つながり・支え合い・共生・交流・地域力・地域福祉・防災
- ・快適・子どもの権利・子育て支援・生きがい・市民自治・若者
- ・自立・人材育成

○経済・雇用

- ・食・観光・札幌型ものづくり・高付加価値・産学官連携・広域連携
- ・女性の活躍・東アジア・グローバル化・雇用

○その他

- ・創造性・文化芸術・環境都市・低炭素・自然環境・エネルギー
- ・コンパクト都市・高次都市機能・魅力都市空間・成熟都市
- ・北海道の中心都市

(2) 市民会議等における意見

○暮らし・コミュニティ

- ・多世代共生・女性の社会参加・市民同士の対話・快適、安心なまち

○経済・人材

- ・魅力、付加価値の向上・北海道の食のショーケース・自然資源
- ・若者のチャンス、夢・チャレンジできるまち

○自然・環境

- ・四季の実感・冷涼な気候・豊かな自然・緑あふれる街・雪資源の活用
- ・雪国の魅力・省エネルギーなまち・エコタウン・スローライフ

○市民性・文化

- ・自由・寛容性・進取・人の優しさ・おもてなし・開拓の歴史

○独自性

- ・都市と自然のバランス・札幌ブランド・北海道の中心都市・住みやすさ

(3) 第3回審議会における意見

- ・新しい価値の創出・都市生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）
- ・若い人が学べる場（若い人材が育てられるまち）・夢・空間都市
- ・つながり・挑戦・チャレンジ

3 新たな都市像（たたき台）

都市の質を表す都市像	国内外に向けて発信する都市像
<ul style="list-style-type: none"> ◇つながりと支え合いの多世代共生都市 ◇人の優しさがつながる安心都市 ◇市民力で豊かな暮らしを創る安心都市 	<ul style="list-style-type: none"> ◇夢を持ち、挑戦できる北の自由都市 ◇創造性をはくむ北の文化都市 ◇東アジアの北方文化創造都市
<p>＜解説文の掲載案＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民同士の交流やつながりを通じた地域力の向上 ・子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる共生社会の構築 ・豊かな暮らしを支える経済発展と雇用の確保 ・市民生活と都市活動の質を高める都市の形成 	<p>＜解説文の掲載案＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な都市機能を活用して新しい価値を創造する活動の推進 ・国際的な経済交流や文化交流の推進による都市活動の活性化 ・道内市町村との相互連携を通じた都市の魅力向上 ・国際社会で活躍できるグローバル人材の育成